

KENGURO 季刊報 vol.1



特別増量版

平成 26 年 9 月 30 日発行

研究高度化・グローバル化特別対策室（通称：研グロ）とは？

平成 26 年 4 月、「研究高度化・グローバル化特別対策室」（通称：研グロ）が研究グローバル化特別対策室（H24-25）を引き継ぐ形で発足しました。主なミッションは、工学部・工学研究科における研究の高度化と教育研究のグローバル化の推進です。季刊報では、対策室の活動を定期的にご紹介するとともに、教職員に（なるべく）役立つ最新情報を掲載していく予定です。今回の創刊号（vol.1）では、本対策室について簡単にご紹介し、**FOCUS ON** として、研グロが関わった活動（下表）の中から 2 つの活動をピックアップして紹介します。

★ **室員**：吉澤【室長】、山口（昌）、今野、宇井、芝崎、小林（悟）、小林（宏）、大坊、伊藤。 **事務**：井上、齋藤

★ **ミッション1**：工学部を代表する研究の育成と全体の研究レベルの底上げのお手伝いをします。具体的には、大型外部資金獲得支援、学術講演会等の若手研究育成機会の企画、「留学生の声」や博士課程入学情報サイトの充実、博士後期課程デュアル・ディグリーおよび留学生入学などの制度の改革検討、銀河レクチャーの企画・開催を行います。

★ **ミッション2**：グローバル人材の育成の手助けをします。海外大学（カナダ・サスカチュワン大学、中国・大連理工大学、韓国・国立ハンバット大学校、モンゴル国立大学など）と学生派遣や受入れなどを通じた戦略的国際交流や、海外同窓会の企画・実施などを進めます。

研グロ活動内容（平成 26 年 4 ~ 12 月）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
	★ 5/15 銀河レクチャー (タイ・P. Buranasiri 先生)	★ 6/5 銀河レクチャー (カナダ・D. Chen 先生)	★ 7/14 銀河レクチャー (韓国・李忠坤先生)	★ 8/5 国際交流広報コーナー OPEN ★ 8/7 銀河レクチャー (モンゴル・B. Enkhsaruu 先生)	★ 9/9 銀河レクチャー (中国・F. Cong 先生) ★ 9/30 銀河レクチャー (マレーシア・Wan Aizon 先生)			★ 12/18 銀河レクチャー予定 (ドイツ・齋藤武彦先生)
研グロ発足		6/11~6/15 サスカチュワン大学訪問 (吉澤)		8/4~8/11 さくらサイエンスプラン 第 2 期サスカチュワン大学 インターンシップ学生募集			11月中旬 韓国・ハンバット大へ学生派遣予定	
	第 1 期サスカチュワン大学 インターンシップ学生募集	6/13 まで			9/12 まで		サスカチュワン大学へ インターンシップ学生の派遣開始予定	

創刊号の注目記事 Focus on !!



アジア 5ヶ国の学生 14 名を本学に招聘!! さくらサイエンスプラン

科学技術振興機構（JST）の新規事業「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の支援を受け、8/4(月)~8/11(月)の日程で、アジア 5ヶ国（中国、モンゴル、韓国、タイ、マレーシア）の大学生・大学院生合計 14 名を本学へ招聘しました。いくつかのトピックスを交えてプログラムのご紹介をします。

→ [見開きページへ](#)



カナダ・サスカチュワン大学とは？

カナダ・サスカチュワン大学は、博士後期課程デュアル・ディグリー制度の締結を視野に、工学研究科が重点的に学術交流を進めている大学です。本報では、サスカチュワン大学と短期研究インターンシップについてご紹介します。

→ [最終ページへ](#)



8/4(月)～8/11(月)の日程で、アジア5ヶ国(中国、モンゴル、韓国、タイ、マレーシア)の7大学(大連理工大学、西北農林科技大学、モンゴル科学技術大学、蔚山科学技術大学校、国立ハンバット大学校、タマサート大学、パハン大学)より大学生・大学院生合計14名を本学へ招聘しました。

★日本到着(1日目):オリエンテーション!!

本学スタッフ3名(研プロ室員1名、国際課職員2名)が成田空港まで迎えに行きました。アジア5ヶ国から招聘しましたので、到着時刻は皆さんバラバラでしたが、トラブルなく迎えることができました。その後、東京のホテルへ移動し、オリエンテーションを行いました。

★博物館見学、そして、いざ、盛岡へ!!(2日目)



日本科学未来館訪問。企画展「トイレ?行っトイレ!」で日本の技術を体感。



初めての新幹線&駅弁。

★キャンパスツアー(3日目):高校生に混じって大学見学!!

オープンキャンパス時ということもあり、たくさんの高校生が学内にいることに皆さん驚いていました。農業教育資料館とミュージアムの見学の際は、熱心にガイドの話に聞いている様子が見られ、展示品について質問をする姿もありました。雨が降り湿度も高かったので、岩手大学のうちわを片手に見学を楽しみました。



農業教育資料館でガイドの話に聞き入る学生。上には何があるのでしょうか。

★講演会・研究室見学(4日目):岩手大学の研究を体感!!



塚学長の講演では、東日本大震災の詳細や防災の重要性についてなど、ご自身の専門分野に絡めたお話がありました。

★工場見学(5日目):日本の企業に感動～

皆さん日本企業を肌で感じる良い機会になったようです。中には、企業規模や従業員数に注目する学生もいました。北上の展勝地で昼食をとった後、日本の伝統玩具のコマやヨーヨー、手ぬぐい、ご当地キャラなどのお土産を見ました。展勝地は桜の名所なので、満開の桜を見たかった!と残念がる学生もいました。



金型技術研究センター訪問。非常に小さな精密加工品を見てびっくり。

招聘学生の声



Ms. C. Kullapat, Thailand: Everybody in this trip is very friendly. It is the best time and I will remember it forever. I hope to study in Japan. See you again!!



Mr. Y. Liu, China: It's a great program for Asian students. I have a visit about research institutions and private companies which help me know more about Japan.



Mr. D.S. Lee, Korea: 이번 프로그램에서 가장 기억에 남는 것은 짧은 7박 8일의 기간임에도 불구하고 하고 많은 다른 나라 친구들을 사귀었다는 것입니다. (7泊8日という短期間にもかかわらず、たくさんの国の友達ができたことが一番記憶に残りました)

本学参加学生の声



岩井守生 電気電子・情報システム工学専攻 D1:
今回様々な国のの人々と交流を持ったことで、それぞれの国による考え方・モノの捉え方の違いに気づきました。今後私の研究をより大きく発展させるには、国外の研究者と積極的に議論を交わし違った視点の意見を取り入れるべきと思いました。



Charoenmin Nithi デザイン・メディア工学専攻 M1:
自分が勉強している分野だけではなく、他の分野にも見学や体験をさせていただき、岩手大学でこのような研究もしていると初めて知りました。



★さいごに・・・

全日程を通し、参加学生の明るく積極的な姿勢が見られた良いプログラムとなりました。国や大学が異なる参加者達が、国籍関係なく交流を深めました。日本の文化や技術だけでなく、参加5ヶ国の言葉、宗教、食べ物の違いからも多くの刺激を受けたようです。参加学生にとって、日本の教職員や学生との新たな出会いもまた、新鮮だったようです。詳しい報告が以下のJSTのHPに掲載されてますので、是非ご覧下さい。(URL: http://ssp.jst.go.jp/report/k_vol41.html)

★フィールドワーク(7日目):岩手の自然を満喫

盛岡を発つ前に、小岩井農場まきば園と盛岡手づくり村へ行きました。

★プレゼン大会(6日目):岩大生と交流☆☆

岩手大学学生主催による発表会を行いました。参加7大学と本学7専攻の紹介および研究紹介を行いました。互いに研究や大学について発表し合い、本学学生にとっても、有意義な活動となりました。その後、本学学生が盛岡市内を案内しました。

プレゼン参加学生

博士後期課程

デザイン・メディア工学専攻 2名: 千葉研・明石研
電気電子・情報システム工学専攻 1名: 小林(宏)研

博士前期課程

フロンティア材料機能工学専攻 3名: 小林(悟)研・宇井研
デザイン・メディア工学専攻 1名: 今野研
応用化学・生命工学専攻 1名: 大石研
機械システム工学専攻 1名: 三好研



小岩井農場まきば園でバター作り体験。搾りたて牛乳を一生懸命シャカシャカ。

facebook 応援サイトもあります!
是非いいね!してください!!
<http://www.facebook.com/sspjapan>

Focus on カナダ・サスカチュワン大学

H25 年度より大学院生を派遣スタート !!

カナダ・サスカチュワン大学は、博士後期課程デュアル・ディグリー制度の締結を視野に、工学研究科が重点的に学术交流を進めている大学です。研グロでは、主に同制度締結の推進とその基盤づくり、短期研究インターンシップの推進を担当しています。

★どのような大学？

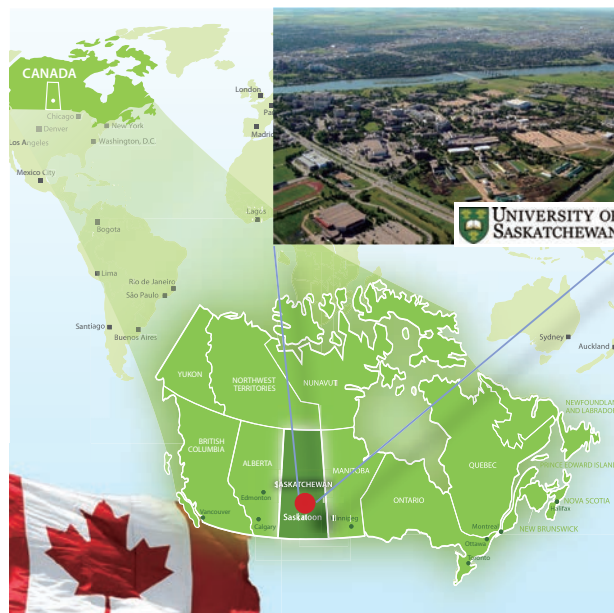
カナダの中で最も空気と水が良い都市として選ばれたサスカトーン市に位置しています。サスカトーン市は、南サスカチュワン川沿いにある、人口約 25 万人の都市です。夏季の平均気温は 11 ~ 30℃、冬季は -12 ~ -22℃で、四季がはっきりしています。サスカチュワン大学は 1907 年に創立された州立大学です。約 2,300 人の留学生を含む約 2 万人の学生が在籍し、その国籍は 100 以上にのぼります。

★学生も大満足 !! 短期研究インターンシップ

H25 年度から工学研究科の大学院生を対象に約 3 週間の短期研究インターンシップを開始しました。計 6 名（フロンティア 2 名、電情 2 名、機械 2 名）が研修を行いました。皆さん、充実した研修だったようで、滞在最後の方では 3 週間は短いと感じたようです。なお、今年度も 10 月以降に研修がスタートします。渡航費用として、航空券・宿泊費が 1 人あたり 30 万円まで研グロから補助されます。是非、院生に参加を勧めて下さい。

★岩手大学とこんなに違う??

カーリング専用のリンクがある。校舎内に恐竜がいる。地下にプラントがある。各建物が全て繋がっている（冬は助かる）。工学部の優秀学生は卒業時に指輪がもらえる。教職員が突然クビになることがある。施設が充実していて校内で 1 日過ごせる。

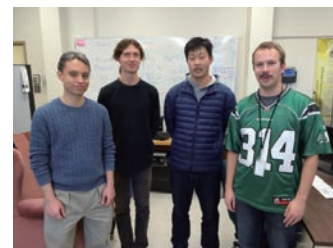


H25 年度インターンシップ学生の声

畠中大地 フロンティア材料機能工学専攻 M2
実習期間 H25. 11/3 ~ 11/22

非常に勉強に打ち込める環境でした

私は希土類ホウ化物薄膜の作製と物性評価テーマに取り組んでいます。実習では、工学部の A. Moewes 研究室に所属し、シンクロトロン放射光施設での実験に参加させて頂きました。研究室の方々のお陰で有意義な実習になりました。結果こそ 3 週間では得られることが出来なかったのですが、これで終わりではなく、今後も共同研究を行う関係になれたのもこの 3 週間の成果の一つです。



研究室の人達と。右から 2 番目が筆者。

掲示板

★国際交流広報コーナーが 8/5 遂に OPEN !!

工学部とゆかりがある海外の交流協定大学について、学生・教職員にもっと知ってもらいたいと思い、工学部 1 号館 1 階ラウンジに、国際交流広報コーナーを設置しました。交流協定大学の写真プレート（現在 13 校）、パンフレット、頂いたお土産などを飾っています。メールボックスのすぐ目の前ですので、一度お立ち寄り下さい。なお、ご自身の交流のある海外の大学をご紹介したい場合は、研グロ編集局まで是非お問い合わせ下さい。



3D プリンタ製のがんちゃん（学内カンパニー・エムキューブ作）で、協定締結校の位置が世界地図上にマークされています !!

★博士課程入学情報サイトがまもなく OPEN !!

これを見れば、入学から日々の生活、就職まで丸ごと分かる博士後期課程入学情報サイトがまもなく工学部 HP に開設されます。是非、アクセスしてみてください。

編集後記

今回、創刊号を迎えました研グロ季刊報ですが、皆様にも少しでも興味を持って頂けるよう、なじみ深く、分かり易い情報をお届けできればと思っています。1 人でも多くの方に読者となって頂けるよう、制作して参りたいと思います。

なお、この季刊報について、ご意見、ご感想、扱ってほしいテーマ等どんなことでもよろしいですので、研グロ編集局までお寄せください。読者の方のフィードバックがあると、制作の励みとなります。次号の発行は 12 月下旬頃の予定です。（齊藤）

編集局：

工学部研グロ 小林（悟）、井上、齊藤
Email: kenguro@iwate-u.ac.jp
TEL: 019-621-6405